

福島工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語 V	
科目基礎情報							
科目番号		0095		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		機械システム工学科		対象学年		5	
開設期		通年		週時間数		2	
教科書/教材		Developing Academic English – Intermediate –(朝日出版)					
担当教員		伊藤 有子					
到達目標							
英語の基礎力を定着し、英文を正確に読むことができる能力を養う。そこから、ライティング、スピーキング、リスニングへ繋がる英語力を確実に定着させる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		学習内容をに身につけ、それをもとに発展した考えをもつことができる		学習内容を理解し、おおよそ身につけている		学習した内容が身についていない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (F)							
教育方法等							
概要		テキストを中心に進めます。これまで得た英語の知識や能力の再確認とともに、発展した英語力を育てていきます。					
授業の進め方・方法		定期試験 8 0 %、課題 2 0 %として 6 0 点以上を合格とする。 定期試験は50分の試験を実施する。中間試験は共通科目試験日に実施する。					
注意点		予習と復習を前提としている授業です。学習意欲を保ち、毎日何かしら英語に触れてください。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業の進め方 unit1		オリエンテーション 精読、内容理解		
		2週	unit1		練習問題、ディクテーション、英作文		
		3週	unit1		英作文		
		4週	unit2		精読、内容理解		
		5週	unit2		練習問題、ディクテーション、英作文		
		6週	unit2		英作文		
		7週	unit3		精読、内容理解		
		8週	unit3		練習問題、ディクテーション		
	2ndQ	9週	unit3		英作文		
		10週	unit4		精読、内容理解、		
		11週	unit4		練習問題、ディクテーション		
		12週	unit4		英作文		
		13週	unit5		精読、内容理解		
		14週	unit5		練習問題、ディクテーション		
		15週	unit5		英作文		
		16週					
後期	3rdQ	1週	unit6		オリエンテーション 精読、内容理解		
		2週	unit6		練習問題、ディクテーション、英作文		
		3週	unit6		英作文		
		4週	unit7		精読、内容理解		
		5週	unit7		練習問題、ディクテーション、英作文		
		6週	unit7		英作文		
		7週	unit8		精読、内容理解		
		8週	unit8		練習問題、ディクテーション、英作文		
	4thQ	9週	unit8		英作文		
		10週	unit9		精読、内容理解		
		11週	unit9		練習問題、ディクテーション、英作文		
		12週	unit9		英作文		
		13週	unit10		精読、内容理解		
		14週	unit10		練習問題、ディクテーション、英作文		
		15週	unit10		英作文		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話することができる。	3	前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14

評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0